



東京都
天川デンタルオフィス
外苑前

天川 由美子
先生

今回のアイテム

ハーキュライトウルトラ

審美修復治療としてのコンポジットレジン修復

私のオフィスでは、最近インターネットを見て来院される患者が増している。なかでも、「コンポジットレジンで治療できるか相談したい」「マイクロスコープでチェックして欲しい」という歯科治療に関しての知識をお持ちの、いわゆるマニアな方も少なくない。

このコンポジットレジン修復希望の理由のほとんどは、『歯を出来るだけ削らない審美修復治療』で、かつ、『セラミック修復より治療費はかからない』からである。

以前であれば、コンポジットレジンと言えば小さな虫歯に対する治療に使用する材料であった。カリエスを除去し、その窩洞に充填するだけのものということである。しかしながら現在では、正中離開・咬合改善・プロビジョナルレストレーション、そして審美修復治療として応用するに十分な

材料に進展している。

本症例は、「保険診療で修復してもらったが色が合っていない」ということを主訴に来院された患者に対して、オプチボンドXTRおよび、ハーキュライトウルトラを使用し修復治療を行った。



1. 左側中切歯と側切歯間のコンポジットレジンの色調不良を主訴に来院。



2. 旧修復物を除去後、オプチボンドXTRで歯面処理を行う。



3. セクショナルマトリックスを使用し、隣接面のウォールを作る。



4. 唇側は筆を使って滑らかにする。



5. 術後。患者の満足する結果を得ることが出来た。